

平成 28 年度上半期 教育・研修委員会活動報告

2016 年度上半期（2016 年 4 月 1 日～2016 年 9 月 30 日）活動報告

委員長 大植孝治 副委員長 大賀正一

委員 康 勝好、小林良二、笹原洋二、嶋田 明、末延聡一、高橋義行、藤 浩、森 鉄也、柳澤隆昭（50 音順、敬称略）

平成 28 年度 学会期間中の教育セッション

テーマ	演者	所属	座長
軟部腫瘍	木下義晶	九州大学	大賀正一
眼腫瘍	鈴木茂伸	国立がん研究センター	藤 浩
外科治療	米田光宏	大阪市立総合医療センター	大植孝治
診断、病理	中澤温子	東海大学	笹原洋二
化学療法	シンポジウム 2 『血液腫瘍 臨床』と共催		
QOL、長期フォロー	上別府圭子	東京大学	康 勝好
リンパ種	森鉄也	聖マリアンナ大学	小林良二
赤血球系疾患	濱 麻人	名古屋大学	高橋義行
免疫不全症	シンポジウム 3 『血液疾患 基礎・臨床』と共催		
腫瘍生物学	シンポジウム 1 『小児固形腫瘍・基礎・臨床』と共催		
脳腫瘍	岡田恵子	大阪市立総合医療センター	柳澤隆昭
	山崎文之	広島大学	

平成 28 年度の小児血液・がんセミナー

地区	担当者	日時
北海道	小林	8 月 20 日
東北	笹原	3 月 18 日
関東	康・森	10 月 30 日
中部	高橋	6 月 25 日（社員総会時）
関西	大植	9 月 25 日
中四国	島田	2 月 19 日
山口・九州	大賀・末延	9 月 4 日

各地区での教育セミナー開催に関しては、本年度をもって 3 年計画がいったん終了した。来年度からは財源の関係で予算を縮小した形で継続の方向で検討中。

次期学会（H29.11,愛媛）以後3年間の教育セッションに関して

- 昨年まではテーマが多すぎて学会のプログラムを圧迫していたため、学術集会時の教育セッションは5-6題に減らし、代わりに6月の社員総会時にも教育セミナーを開催して、年2回、計6回ですべてのテーマを網羅するように計画をたてる。

教育セッション 30分 毎日2題ずつ 計6題

教育セミナー（13:00-16:00） 180分：30分×5題

1年間で11コマあるので、各委員11人で1コマずつ担当する

- 過去3年のテーマを踏襲した形で、次ページのような教育セッションの原案を作成。
- 各委員は、1年間を通じて一コマを担当し、演者と座長の決定、内諾の取り付けを行う。
- 脳腫瘍および、倫理に関しては、毎年入れ方が良い、という意見があったので、毎年1コマずつプログラムに入れる。

来年以降の教育研修3年計画（案）

		固形腫瘍関連	血液腫瘍・血液疾患	総論・その他
1年目 (H29)	教育セッション (学術集会時)	神経芽腫 脳腫瘍1	ALL NDS/AA	倫理・利益相反 QOL・長期フォロー
	教育セミナー (社員総会時)	腎腫瘍 骨腫瘍	血小板系疾患 移植療法	感染対策・免疫
2年目 (H30)	教育セッション (学術集会時)	肝腫瘍 脳腫瘍2	組織球症 凝固異常・輸血	倫理・利益相反 放射線治療
	教育セミナー (社員総会時)	胚細胞腫瘍(除CNS) 眼腫瘍	リンパ腫 化学療法	病理診断
3年目 (H31)	教育セッション (学術集会時)	軟部腫瘍 脳腫瘍3	AML 免疫不全症	倫理・利益相反 統計・疫学
	教育セミナー (社員総会時)	その他の腫瘍 外科治療	赤血球疾患・造血 腫瘍生物学	緩和・社会支援

文責：兵庫医科大学 小児外科 大植孝治